

## 土木学会論文集の再編に伴う土木史研究論文集の移行について（第1報）

土木学会 土木史研究委員会  
土木史研究論文編集小委員会  
委員長 小林 一郎

すでに土木学会誌 11月号 (pp51-54) にてご案内の通り、土木学会論文集および土木史研究論文集を初めとする各委員会論文集が、2011年1月より土木学会論文集として整理・再編されます。現段階では、再編の大きな枠組みが決定し、詳細な検討が始まったばかりのところですが、現段階における土木史研究編集小委員会の対応について、皆様にお知らせします。

### 1. 再編・移行の概略

「土木史研究論文集」がそのまま、「土木学会論文集 D2 (土木史)」になります。

編集方針、査読基準、登載論文の水準、編集体制は、最大限、現在の土木史研究論文集のものを踏襲します。編集小委員会も、引き続き、土木史研究委員会にて担当します。

現段階における大きな変更点は以下の通りです。

- ・冊子体の発行をやめ、J-STAGE での電子ジャーナルとなる。  
※発行より1年経過後、冊子体で発行することを検討中です。
- ・論文集投稿前の発表審査（土木史研究発表会での口頭発表）を廃止する。
- ・投稿受付、論文審査が、通年を通じておこなわれる。  
(いずれも現行の土木学会論文と同様です)
- ・新論文集では投稿区分が「論文」「報告」「ノート」の3種類となる。

なお、土木史研究部門では、いくつかの調査研究委員会で発行が予定されている「特集号」は発行せず、「通常号」のみの発行となります。

### 2. 投稿論文の受付

#### (1) 土木史研究論文集の受付

「土木史研究論文集」の新規受付は行いません。

「土木史研究論文集」は、現在査読が行われている論文が掲載される「土木史研究論文集 No. 29」をもって終了します。したがって、土木史研究論文集への新規投稿は受け付けません。なお、No. 29 の査読、修正依頼等は従来通りに行います。No. 29 の査読において再々査読になった論文は、2010年6月以降に、土木学会論文集 D2 (土木史) に投稿して下さい。

#### (2) 土木学会論文集 D2 (土木史) の受付開始

2010年6月から、「土木学会論文集 D2 (土木史)」の受付を開始する予定です。

##### a) 受付・審査の手順

土木学会論文集 D2 (土木史) の受付は、随時行います。

投稿受付後、順次、査読者の選定、依頼を行い、査読を開始します。

なお、土木学会論文集 D2 (土木史) に投稿された論文でも、他の部門（例えば景観・デザイン）での審査が相応しいと、編集小委員会が判断した場合には、著者と相談の上部門を変更することがあります。逆に、他の部門で投稿された論文であっても、当該部門の編集小委員会の判断により、土木学会論文集 D2 (土木史) で審査を担当することもあります。

**b) 投稿受付・査読システム**

土木学会論文集 D2 (土木史) の投稿受付システム、査読システムは、新しい土木学会論文集全体で共通のシステムを用います。(現行の土木学会論文集で使用しているものが、若干改変されて用いられる予定です)

**c) 投稿部門**

現行の土木学会論文集にある「論文」「報告」「ノート」の投稿区分が「土木学会論文集 D2 (土木史)」にも引き継がれます。現在「土木史研究論文集」で設けている 4 部門(史実部門、解釈部門、萌芽部門、重点部門)は廃止されますが、キーワード等で明示していただくことを検討中です。

**d) 登載論文の上限ページ数**

これまで、「土木史研究論文集」では、論文の上限ページ数が 20 ページとなっていましたが、移行後はページ数の上限がなくなります。

**e) 投稿料・掲載料**

投稿料は、土木学会全体で統一的に設定されます。現行の土木学会論文集と同額になる予定です。

**3. 論文集の発行****(1) 土木史研究論文集の最終号**

2010 年 6 月に発行を予定している「土木史研究・論文集 No. 29」が最終号となります。なお既刊の土木史研究論文集は、将来的に電子ジャーナル化(J-STAGE に掲載する)する可能性を検討しています。

**(2) 土木学会論文集 D2 (土木史) の発行**

2011 年 6 月から、編集小委員会で登載が認められた論文を、原則として、年に 2 回、J-STAGE に登載する予定です。

紙媒体での発行は、J-STAGE に登載後 1 年経過した後から認められる予定です。1 年経過後、講演集と合本して発行することを検討中です。

**(3) 土木学会論文集 A~G の最終号**

2010 年の最終号をもって、土木学会論文集 A~G は発行停止となります。

**4. 移行期間の措置****(1) 土木史研究で審査が終了しなかった論文**

土木史研究 No. 29 の審査過程で、不採用(再々査読)と判定された論文は、適宜修正の後、あらたに土木学会論文集 D2 (土木史) に投稿することが可能です。

**(2) 現行の土木学会論文集で審査が終了しなかった論文**

現行の、土木学会論文集 A~G の発行停止までに、土木学会論文集 A~G に登載が決定しなかった論文は、現在の土木学会論文集 : A~G の部門編集小委員会の判断と著者の希望に基づき、適切な、再編後の編集小委員会へと引き継がれます。

※なお、(1) (2) いずれの場合も、掲載料は、移行後の土木学会論文集のものになりますので、ご注意ください。